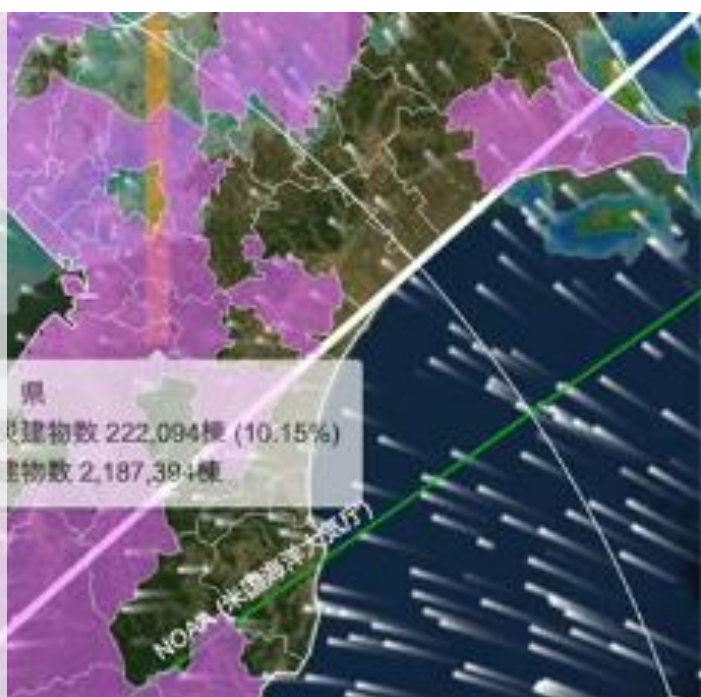
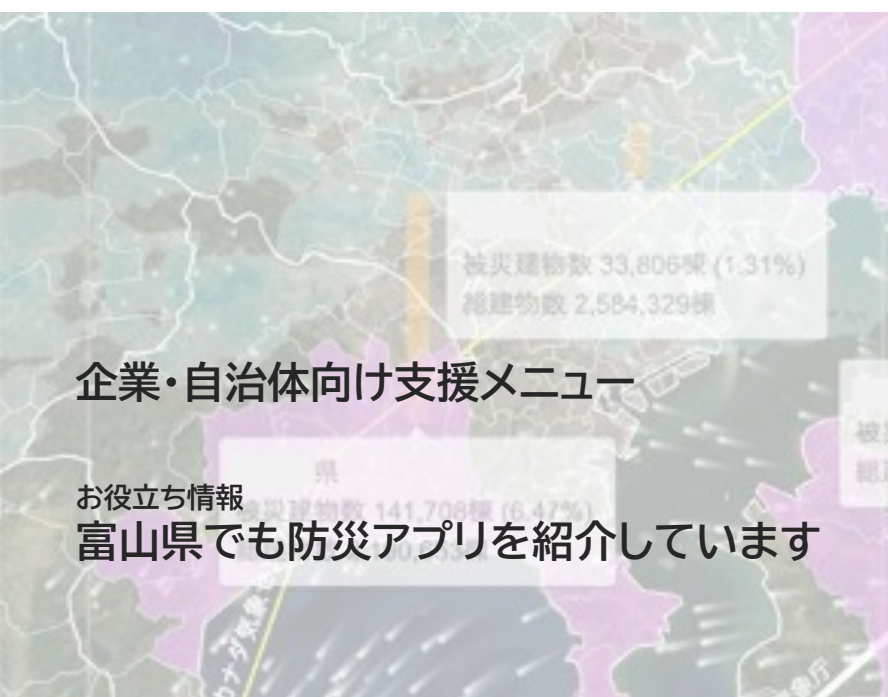


富山県気候変動適応センター

NEWSLETTER

Vol.14 | 2025.06



もし今いる場所が浸水したら・・・

ARでリアルな水害を体験

近年、各地で大規模な豪雨が相次ぎ、河川の氾濫や住宅・農地の浸水などの水害が後を絶ちません。地球温暖化がさらに進むと、富山県でも100年に1度クラスの記録的な豪雨がより頻繁に発生すると予測されています。

一方で、過去の豪雨災害を見てみると、「自分は大丈夫」「まだ大丈夫」といった正常性バイアスによる“逃げ遅れ”が多く発生しており、浸水してから避難することの危険性が認知されていません。

そこで、富山県環境科学センターの一般公開(2025年6月7日開催)に来ていただいた県民のみなさまに、AR (Augmented Reality: 拡張現実)を使って浸水時の避難を疑似体験してもらいました。



今回のAR浸水体験は、富山県と包括連携協定を締結している**あいおいニッセイ同和損害保険(株)**とコラボして実施しました！

目の前の世界に水害の様子を合成したAR映像で、実際に浸水したような状況を体験してもらいました。

ご協力いただいたのは・・・

あいおいニッセイ同和損害保険(株)
富山支店 地域戦略室
富山トレーニングセンター長

小西 英之 さん



小西さん

タブレットには、実風景映像に浸水時の水面を重ねて映し出しています。
この映像を見ながら障害物(三角コーン)のあるコースを歩いてもらいます。



ARでは、水面や漂流物がリアルに映し出されています。



タブレット越しに足元をよく見ながら歩きます。



本当に浸水しているように見えるね！

水の中がぼんやり見えるけど、歩きやすいのかな？



小西さん

実際の水害時には水が濁っているので、水深30cmくらいでも足元がとても見づらくなります。
そんなときは杖や傘などを使って足元に障害物や段差がないか確認しながら歩きます。



水が濁っていると足元に何があるかわからない！



そんなときは杖を使って足元の様子確かめます。

長ぐつは水が入ると重くなったり脱げたりして危ないので、ひもで結ぶスニーカーのほうがいいね！





小西さん

今日は多くの方に体験・見学していただきました。
浸水してしまってから避難することの難しさを実感されたのではないのでしょうか。



一歩ずつ慎重に歩きます。



テレビの取材を受けました！



子どもは、水深1mで首や顔まで沈んでしまいます。



子どもたちにも小西さんが優しく教えてくれました。



小西さん

浸水したなかの避難には多くの危険が伴い、避難に必要な時間も長くなります。
水害から自分や家族の命を守るためには、早めに避難することが重要です。



防災情報や避難情報に注意して、避難指示が出たら迷わず避難しよう！

急な豪雨で避難する時間がないときやもう浸水してしまったときは
無理に避難所を目指さず、建物の2階以上に避難して救助を待とう！



企業・自治体向け支援メニュー

あいおいニッセイ同和損害保険(株)では地方創生の取り組みとして、企業・自治体向けに「防災・減災」のほか、「SDGs・カーボンニュートラル」「保育・介護」などさまざまな課題解決支援メニューを提供しています。



保育版BCP作成キット



保育事業者向けタイムライン作成のポイント研修
(射水市)



介護事業者向け地震BCP訓練ワークショップ
(射水市)

お問い合わせは

あいおいニッセイ同和損害保険(株) 富山支店 地域戦略室 (担当:小西)
TEL: 050-3461-1614 E-mail: koni@aioinissaydowa.co.jp



～お役立ち情報～

富山県でも防災アプリを紹介しています

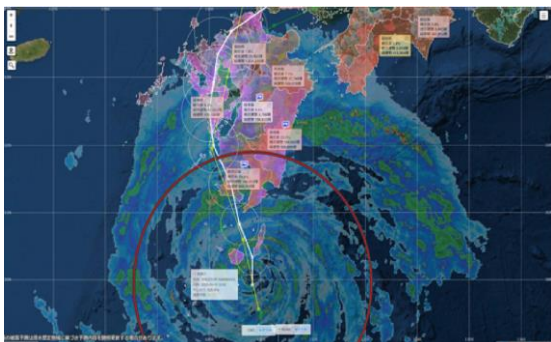
気象情報や災害情報の収集、事前の備えの参考に防災アプリをご活用ください。いずれも無料でダウンロードできます。

それぞれのアプリの
詳しい情報は
[こちら](#)☞を見てね！



リアルタイム被害予測ウェブサイト・アプリcmap ※1

あいおいニッセイ同和損害保険(株)が産学共同研究により開発した、台風・豪雨・地震による被災建物数を市町村ごとにリアルタイム予測し、地図上に表示するサービスです。アプリ版では、自然災害に関する緊急情報の通知機能のほか、天気予報などに日常利用できる機能も備えています。



台風は上陸前から、豪雨は被災直後からリアルタイムで被害予測するので、被災地域と規模を早期に把握できます。



AIによりフェイクを除去した災害関連のSNS情報をリアルタイムに提供することで、大雨、河川増水、浸水・冠水などの情報を速報として確認できます。

cmapアプリを
ダウンロード



Uni-Voice Blindアプリ(耳で聴くハザードマップ)

Uni-Voice Blindアプリ(耳で聴くハザードマップ)では、現在地や指定した場所の災害リスク情報を音声で取得できるほか、現在地周辺の各災害種別に対応した避難場所を表示し、音声での誘導機能も備わっています。また、避難指示や避難所開設情報等の配信を受けることもできます。

逃げなきゃコール

「逃げなきゃコール」は、離れた場所に暮らす高齢者等の家族の防災情報を、家族がスマートフォンアプリ等によりプッシュ型で入手し、直接家族に電話をかけて避難を呼びかける仕組みです。

「NHKニュース・防災」「Yahoo! 防災速報」「au災害対策(+メッセージ)」「NTT docomo災害用キット」の各アプリから利用できます。

Yahoo!防災速報 ※2

「Yahoo! 防災速報」では、災害情報の入手のほか、ユーザー同士で災害情報を共有できる災害マップ機能や避難場所の登録や防災用品の確認などに活用できる防災手帳機能など、普段の備えの支援を行っています。

※1: 富山県とあいおいニッセイ同和損害保険(株)は令和4年11月に包括連携協定を締結し、防災分野として自然災害に対する備えの啓発活動等で連携することとしています。

※2: 富山県とヤフー(株)は平成29年4月に災害に係る情報発信等に関する協定を締結し、災害時の情報発信について協力することとしています。



NEWSLETTER
ニュースレター 第14号

発行
富山県気候変動適応センター
Toyama Local Climate Change Adaptation Center

〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1 (富山県環境科学センター内)
TEL:0766-56-2835 / FAX:0766-56-1416